

(様式6)

公共事業新規箇所評価調査

評価確定日(平成28年8月4日)

事業コード	H28-建-新-1			区 分	●国庫補助 ○県単独
事 業 名	地方街路交付金事業			部局課室名	建設部 都市計画課
事業種別	現道拡幅			班 名	都市整備班 (tel) 018-860-2443
路線名等	都市計画道路 八幡根岸線			担当課長名	石川 浩司
箇所名	横手市根岸町			担当者名	柳沢 悟
総合計画との関連	政策コード	04	政策名	安全で安心な生活環境の確保	
	施策コード	03	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保	
	指標コード	05	施策目標(指標)名	コンパクトで魅力あるまちづくりの推進	

1. 事業の概要

事業期間	H29 ～ H35 (7年)		総事業費	14.5 億円	国庫補助率	0.7																																																																
事業規模	延長L=315.0m 幅員W=9.0(18.0)m																																																																					
事業の立案に至る背景	(都)八幡根岸線(県道名:(一)御所野安田線)は横手市中心市街地を東西に連絡する重要な幹線街路(環状道路)である。しかし、今回の事業計画区間は接続する前後区間が整備済みなのにに対し、未整備のボトルネック狭隘区間(1車線)となっており、自動車のすれ違いも困難な状況である。また、特に冬期は堆雪によりさらにその状況を悪化させている。周辺には医療施設(市立横手病院、横手興生病院)、教育施設(横手城南高校、横手南小学校、横手幼稚園)、公共施設(横手法務合同庁舎、横手市女性センター)、観光関連施設(横手公園、かまくら会場)などがあり、歩行者・自転車交通も多いが、歩道が未整備のため歩車道分離による安全確保が早急に求められている区間である。現道拡幅による2車線化と歩道整備を行うことにより各種周辺施設へのアクセス向上を図るとともに、併せて安全な歩行空間の確保を図るものである。																																																																					
事業目的	○重要な市街地環状道路におけるボトルネック区間解消による交通円滑化を図る ○市立横手病院(二次救急医療施設)、横手城南高校等の公共公益施設、観光関連施設へのアクセス向上を図る ○歩道の設置・バリアフリー化により歩行者の安全・安心な通行を確保するとともに、狭隘道路の拡幅による都市防災性の向上、コンパクトで魅力あるまちづくりを図る																																																																					
業務費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table><tr><td colspan="2"></td><td>全体</td><td>H29年度</td><td>H30年度</td><td>H31年度</td><td>H32年度以降</td></tr><tr><td rowspan="4">経費内訳</td><td>事業費</td><td>1,450,000</td><td>20,000</td><td>100,000</td><td>140,000</td><td>1,190,000</td></tr><tr><td>工事費</td><td>246,000</td><td></td><td></td><td></td><td>246,000</td></tr><tr><td>用補費</td><td>1,079,000</td><td></td><td>30,000</td><td>130,000</td><td>919,000</td></tr><tr><td>その他</td><td>125,000</td><td>20,000</td><td>70,000</td><td>10,000</td><td>25,000</td></tr><tr><td rowspan="4">財源内訳</td><td>国庫補助</td><td>1,015,000</td><td>14,000</td><td>70,000</td><td>98,000</td><td>833,000</td></tr><tr><td>県債</td><td>313,100</td><td>4,300</td><td>21,600</td><td>30,200</td><td>257,000</td></tr><tr><td>その他</td><td>87,000</td><td>1,200</td><td>6,000</td><td>8,400</td><td>71,400</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>34,900</td><td>500</td><td>2,400</td><td>3,400</td><td>28,600</td></tr><tr><td colspan="2">事業内容</td><td>道路改築 L=315.0m</td><td>道路詳細設計 路線測量 用地測量</td><td>建物調査 用地補償</td><td>建物調査 用地補償</td><td>道路改築 用地補償</td></tr></table>								全体	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降	経費内訳	事業費	1,450,000	20,000	100,000	140,000	1,190,000	工事費	246,000				246,000	用補費	1,079,000		30,000	130,000	919,000	その他	125,000	20,000	70,000	10,000	25,000	財源内訳	国庫補助	1,015,000	14,000	70,000	98,000	833,000	県債	313,100	4,300	21,600	30,200	257,000	その他	87,000	1,200	6,000	8,400	71,400	一般財源	34,900	500	2,400	3,400	28,600	事業内容		道路改築 L=315.0m	道路詳細設計 路線測量 用地測量	建物調査 用地補償	建物調査 用地補償	道路改築 用地補償
		全体	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度以降																																																																
経費内訳	事業費	1,450,000	20,000	100,000	140,000	1,190,000																																																																
	工事費	246,000				246,000																																																																
	用補費	1,079,000		30,000	130,000	919,000																																																																
	その他	125,000	20,000	70,000	10,000	25,000																																																																
財源内訳	国庫補助	1,015,000	14,000	70,000	98,000	833,000																																																																
	県債	313,100	4,300	21,600	30,200	257,000																																																																
	その他	87,000	1,200	6,000	8,400	71,400																																																																
	一般財源	34,900	500	2,400	3,400	28,600																																																																
事業内容		道路改築 L=315.0m	道路詳細設計 路線測量 用地測量	建物調査 用地補償	建物調査 用地補償	道路改築 用地補償																																																																
調査経緯	現行都市計画決定(当初S39.3 最終H24.4) H27 費用便益比算定業務委託																																																																					
上位計画での位置付け	横手市都市計画マスタープラン																																																																					
関連プロジェクト等	特になし																																																																					
事業を取り巻く情勢の変化	(都)中央線→西側隣接工区である「幸町工区」が平成28年3月に完成供用																																																																					
計画的な実施に努める。	<table><tr><td>指標名</td><td colspan="5">都市計画道路整備率</td></tr><tr><td>指標式</td><td colspan="5">整備済み延長／都市計画決定延長</td></tr><tr><td>指標の種類</td><td>○成果指標</td><td>●業績指標</td><td>低減指標の有無</td><td colspan="2">○ 有 ● 無</td></tr><tr><td>目標値a</td><td colspan="2">62%</td><td rowspan="2">データ等の出典</td><td colspan="2" rowspan="2">秋田県の都市計画</td></tr><tr><td>達成値b</td><td colspan="2">62%</td></tr><tr><td>達成率b/a</td><td colspan="2">100%</td><td>把握の時期</td><td colspan="2">平成28年 4月</td></tr></table>						指標名	都市計画道路整備率					指標式	整備済み延長／都市計画決定延長					指標の種類	○成果指標	●業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		目標値a	62%		データ等の出典	秋田県の都市計画		達成値b	62%		達成率b/a	100%		把握の時期	平成28年 4月																																
指標名	都市計画道路整備率																																																																					
指標式	整備済み延長／都市計画決定延長																																																																					
指標の種類	○成果指標	●業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																																		
目標値a	62%		データ等の出典	秋田県の都市計画																																																																		
達成値b	62%																																																																					
達成率b/a	100%		把握の時期	平成28年 4月																																																																		

2. 所管課の1次評価

観点	評価の内容(特記事項)	評価点
必要性	横手市の中心市街地を東西に連絡する重要な幹線街路(環状道路)であるが、前後が整備済みなのに対し未整備のボトルネック狭隘区間(1車線)となっており、自動車のすれ違いが困難な状況となっている。 周辺には高校、小学校、幼稚園があるが歩道未整備であり、通学時間帯は危険な状況である。参考：歩行者・自転車(573人台/12h)	33点
緊急性	災害時における周辺の指定緊急避難場所(横手城南高校、横手公園)への避難路としての役割を担うとともに、二次救急医療施設である市立横手病院をはじめ横手法務合同庁舎や横手市女性センターなどの公共公益施設へのアクセス向上を図る必要がある。 西側隣接区間((都)中央線「幸町工区」)がH28.3に完成供用したことにより当該区間が前後区間で唯一のボトルネック狭隘箇所となり、緊急な整備が求められている。	12点
有効性	歩道整備・パリアフリー化の推進により、周辺の公共公益施設(病院・学校・公共施設等)や観光関連施設(横手公園、かまくら会場)へのアクセスが改善される。 道路拡幅による都市防災性の向上により安全・安心な生活環境を確保し、コンパクトで魅力あるまちづくりを行い、合わせて沿線市街地における活性化に貢献する。	23点
効率性	事業の費用便益比は1.33であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 11.1億円 ・総便益の現在価値 14.7億円 計画交通量は4,400台/日である。	8点
熟度	当該路線はすでに都市計画決定されている。 横手市及び地元住民組織からの道路整備に対する要望書が出されており、協力体制が得られる状況となっている。	10点
判定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) ランクⅠであり、事業箇所としての優先度は極めて高く、事業を実施すべきと判断する。	86点
総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 横手市における重要な幹線街路であり、ボトルネックの狭隘区間であることから早期に改善することが必要である。また、道路拡幅、歩道整備による歩行者の安全性確保や周辺の公共公益施設へのアクセス向上など、都市内の多様な機能を持った道路整備として有効な事業と判断される。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該区間は接続する前後区間が整備済みであるのに対し、未整備のボトルネック狭隘区間(1車線)となっており、自動車のすれ違いも困難な状況である。特に冬季はその状況が更に悪化している状況である。このことから事故の発生率も非常に高い。周辺には医療施設、教育施設、公共施設、観光関連施設などがあり、歩行者・自転車交通も多いが、歩道が未整備のため歩車道分離による安全確保が早急に求められている区間である。 そのため、現道拡幅2車線化と歩道整備による周辺施設へのアクセス向上は必要性和有効性が高いことから、1次評価における事業実施の総合評価は妥当と判断される。	

4. 財政課長意見

意見内容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
接続する前後の区間は拡幅整備済みであるが、当該区間は狭隘で歩道もないことから、車両と歩行者の安全な通行に支障を来している。 横手幼稚園や横手南小学校、横手城南高等学校の通園・通学路、災害時の避難経路の役割も担っており、事業実施の必要性は認められる。	

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業の実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

別表5 (14)

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 街路事業

事業コード (H28-建-新-01)
箇所名 ((都)八幡根岸線 横手市根岸町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	都市計画道路の規模及び機能				
	道路の規模及び分類	幹線街路	5	5	18.0%、2車線の幹線街路
		補助幹線街路	3		
		上記以外の補助幹線街路など	0		
	都市構造上の機能	放射環状道路	5	5	環状道路
		放射環状道路を補完する道路	2		
		その他の道路	0		
	現況道路における問題箇所				
	交通容量不足 (現道混雑度1.0以上)	該当	3	0	該当なし
		非該当	0		
	主要渋滞箇所の渋滞解消・緩和 に効果のある道路	該当	3	0	該当なし
		非該当	0		
	狭隘道路 (1車線道路・一方通行道路)	該当	3	3	狭隘1車線
		非該当	0		
	線形不良・勾配不良 (道路構造令又は県の基準に達しない道路)	該当	3	3	構造令不適合 最小曲線30m
		非該当	0		
	バス路線	該当	3	0	該当なし
		非該当	0		
	歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含む)	該当	6	6	歩道なし
		非該当	0		
	通学路指定	該当	3	3	学校指定
		非該当	0		
	人身事故発生地点	該当	3	3	事故率152件/億台キロ
		非該当	0		
	県事業としての必要性				
	県道又は県道となる見込みの道路	該当	5	5	覚書締結済み (H9)
		非該当	0		
	計		42	33	
緊急性	防災機能向上への貢献度				
	・緊急輸送道路	該当項目2以上	7	7	避難路 (城南高校、横手公園) 延焼防止
	・避難路	該当項目1	5		
	・老朽橋梁又は耐震性の劣る橋梁の架替・補強 ・延焼防止(現況幅員W<12m→拡幅後W≧12m)	該当項目0	0		
	関連事業の有無				
	各種プロジェクト支援 (国・県・市町村など)	該当	1	0	該当なし
		非該当	0		
	公共公益施設等アクセス (市町村役場・医療機関・学校・公民館など)	該当	1	1	公立横手病院・横手興生病院 地方事務合同庁舎等
		非該当	0		
	他の公共事業関連 (街路事業以外の事業支援)	該当	1	1	横手市公共下水道事業
		非該当	0		
	隣接区間の整備状況				
	隣接区間の整備状況	整備済み	3	3	整備済み
		未整備	0		
	計		13	12	
有効性	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度				
	・DID区域内	該当項目2以上	10	10	DID区域内 横手城趾周辺の景観・まちづくり
	・市街地再開発・区画整理等との連携	該当項目1	5		
	・無電柱化計画	該当項目0	0		
	・景観、中心市街地の活性化やまちづくりに資する ・商業地域内				
	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度				
	・高速ICアクセス	該当項目2以上	5	3	横手公園・かまくら会場 (観光地アクセス)
	・港湾・空港アクセス	該当項目1	3		
	・新幹線駅又は特急停車駅へのアクセス	該当項目0	0		
	・主要な観光地へのアクセス				
	・駅前広場の造成				
	・広域道路整備計画				
	安全で快適な生活環境への貢献度				
	・バリアフリー	該当項目2以上	5	5	歩道バリアフリー 二次医療施設へのアクセス 流雪溝 堆雪幅(停車帯)
	・二次・三次医療施設へのアクセス	該当項目1	3		
	・消融雪施設又は流雪溝の整備	該当項目0	0		
	・耐雪幅の確保				
	・道路緑化の推進				
	上位計画の位置づけ				
	・第2期ふるさと秋田元気創造プラン	該当項目1以上	5	5	横手市都市計画マスタープラン
	・都市計画マスタープラン	該当項目0	0		
	・渋滞対策				
	・その他関連計画				
	計		25	23	

別表5 (14)

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 街路事業

事業コード (H28-建-新-01)
箇所名 ((都)八幡根岸線 横手市根岸町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
効率性	費用便益比(B/C)				
	費用便益比(B/C)	1.0以上	5	5	B/C=1.33
		1.0未満	0		
	計画交通量				
	計画交通量	10,000台/日以上	5	3	4,400台/日
		4,000台/日以上10,000台/日未満	3		
		1,000台/日以上4,000台/日未満	2		
		1,000台/日未満	0		
	計		10	8	
熟 度	都市計画決定				
	都市計画決定の状況	都市計画決定済み	4	4	都市計画決定済み
		都市計画決定予定	2		
	地域のニーズ				
	地域・各種団体等からの要望・陳情・請願等	有り	3	3	横手市・地元住民より要望書
		なし	0		
	地域の協力体制				
	関係市町村や地域住民の協力	有り	3	3	あり(用地関係者署名入り要望書)
		なし	0		
	計		10	10	
合 計			100	86	

2. 判 定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	86	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		